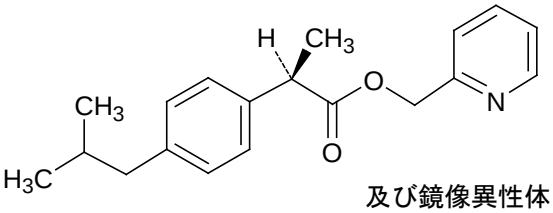
イブプロフェンピコノール

Ibuprofen Piconol



及び鏡像異性体

$C_{19}H_{23}NO_2$：297.39

Pyridin-2-ylmethyl (2*RS*)-2-[4-(2-methylpropyl)phenyl]propanoate

[*64622-45-3*]

本品は定量するとき，換算した脱水物に対し，イブプロフェンピコノール($C_{19}H_{23}NO_2$)98.5～101.0%を含む．

性状　本品は無色～微黄色澄明の液で，においはないか，又はわずかに特異なにおいがある．
本品はメタノール，エタノール(95)，アセトン又は酢酸(100)と混和する．
本品は水にほとんど溶けない．
本品は旋光性を示さない．
本品は光により分解する．

確認試験

（**1**）　本品 10mgをエタノール(95)250mLに溶かした液につき，紫外可視吸光度測定法〈*2.24*〉により吸収スペクトルを測定し，本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき，両者のスペクトルは同一波長のところに同様の強度の吸収を認める．

（**2**）　本品につき，赤外吸収スペクトル測定法〈*2.25*〉の液膜法により試験を行い，本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき，両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める．

屈折率〈*2.45*〉　n_D^{20}：1.529～1.532

比重〈*2.56*〉　d_{20}^{20}：1.046～1.050

純度試験

（**1**）　塩化物〈*1.03*〉　本品 0.5gをアセトン 20mLに溶かし，希硝酸 6mL及び水を加えて 50mLとする．これを検液とし，試験を行う．比較液は 0.01mol/L塩酸 0.30mL，アセトン 20mL，希硝酸 6mL及び水を加えて 50mLとする(0.021%以下)．

（**2**）　硫酸塩〈*1.14*〉　本品 0.5gをアセトン 20mLに溶かし，希塩酸 1mL及び水を加えて 50mLとする．これを検液とし，試験を行う．比較液は 0.005mol/L硫酸 0.40mL，アセトン 20mL，希塩酸 1mL及び水を加えて 50mLとする(0.038%以下)．

（**3**）　重金属〈*1.07*〉 本品 4.0gをとり，第 2 法により操作し，試験を行う．比較液には鉛標準液 2.0mLを加える(5ppm以下)．

（**4**）　類縁物質　本品 0.10gをメタノール 5mLに溶かし，試料溶液とする．この液 1mLを正確に量り，メタノールを加えて正確に 200mLとし，標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液 10μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする．次にヘキサン／酢酸エチル／酢酸(100)／メタノール混液(30：10：2：1)を展開溶媒として約 10cm展開した後，薄層板を風乾する．これにリンモリブデン酸*n*水和物のエタノール(95)溶液(1→10)を均等に噴霧し，170℃で 10 分間加熱するとき，試料溶液から得た暗褐色の主スポット以外のスポットは 2 個以下であり，標準溶液から得た暗褐色のスポットより濃くない．

（**5**）　残留溶媒　別に規定する．

水分〈*2.48*〉　0.1%以下(5g，容量滴定法，直接滴定)．

強熱残分〈*2.44*〉　0.1%以下(1g)．

定量法　本品約 0.6g を精密に量り，酢酸(100)50mL に溶かし，0.1mol/L 過塩素酸で滴定〈*2.50*〉する(電位差滴定法)．同様の方法で空試験を行い，補正する．

0.1mol/L過塩素酸 1mL＝29.74mg $C_{19}H_{23}NO_2$

貯法

保存条件　遮光して保存する．

容器　気密容器．